

当院を受診された患者さんへ

## 「当院における急性骨髄性白血病の移植後再発についての 後方視的検討」 への協力のお願い

血液内科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象：**2017年1月1日～2025年12月31日の間に、当院において、急性骨髄性白血病の診療を受けられた方

**研究期間：**岐阜市民病院臨床研究審査委員会での承認日～2028年3月31日

### 研究目的・利用方法：

急性骨髄性白血病（AML）に対する同種造血幹細胞移植（allo-HSCT）は、高リスク症例において再発リスクの低下が期待される治療です。Allo-HSCTにより再発率を低下させ、生存率を改善することが示されている一方で、非再発死亡や移植後再発などの課題も残されています。近年、遺伝子プロファイルによるAMLのリスク層別化や移植適応について広く用いられておりますが、allo-HSCT後に再発をしたAMLの遺伝子プロファイルや治療経過、転帰についての検討は十分に行われておりません。自施設でallo-HSCTを施行したAMLを対象に、患者背景、遺伝子変異、治療経過および予後について後方視的に解析することで、現行の診療方針の改善に寄与できると考えます。

### 研究に用いる試料・情報の種類：

一般情報：年齢、性別、身長、体重、Performance status、合併症

疾患情報：分類（WHO分類）、発症契機

画像検査：PET-CT、CT、MRI

血液・骨髄検査所見：末梢血・像、生化学一般、染色体検査、MRD

遺伝子解析結果（G608：造血器腫瘍における遺伝子異常の網羅的解析の研究同意取得した症例のみ）

髄液検査所見：CNS浸潤の有無、髄注回数

治療情報：レジメン内容、用量、合併症、移植情報（ドナーソース、前処置、HCT-CI）

治療後情報：治療効果、再発の有無、最終転帰、生存期間

### 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ

合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先までお申し出ください。なお、本研究は、岐阜市民病院臨床研究審査委員会において審査・承認されております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

### **研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反**

研究者及び岐阜市民病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反は存在しません。

### **連絡先**

岐阜市民病院 血液内科  
電話番号：058-251-1101  
氏名：笠原 千嗣

### **研究責任者**

岐阜市民病院 血液内科  
氏名：笠原 千嗣

### **【相談窓口】**

岐阜市民病院 血液内科  
〒500-8513  
岐阜県岐阜市鹿島町7丁目1番地  
Tel：058-251-1101